

2006年4月1日制定

# 2006年中期経営計画

**The Powerful Leader in P&O**

◆ 経営ビジョン

◆ 基本方針

サンケン電気株式会社

## I 経営ビジョン

### (1) ドメイン（事業領域）とスローガンについて

当社は半導体デバイス事業をコアに据え、その延長線上にあるパワー モジュール事業とパワーシステム事業を包含する幅広いパワー エレクトロニクスビジネスを展開しています。更にCCFL事業は、コアビジネスをも凌駕する勢いで成長しており、LED事業と相俟って当社第二の柱であるオプティカルデバイスビジネスを構成しています。

06中計において注力すべきドメインとしては、この2つの領域においては他になく、ここに経営資源を集中し、比類なき技術力を礎に高付加価値新製品をスピーディーに市場投入し、常に他に先行する力強いリーダーたらし、「The Powerful Leader in P&O」をスローガンとします。また、「つねに挑戦、さらに強く」の積極精神は、03中計の3年間でわれわれの間にしっかりと根づいた感があります。本中計に掲げた目標の達成を目指す上でも、この果敢に挑戦する気持ちと持てる強みに磨きをかけて行動すると言う仕事への取り組み方は、時代を超えて極めて重要であると考え、継続して使用します。

### (2) 基本方針について

本中計では経営の考え方を全従業員に浸透させ、愚直に実践する事に重きをおき五つの基本方針に取り纏めました。

先ず06中計の成長戦略の中心として、コアビジネスである半導体デバイス事業の低迷からの脱却と新たな拡大、発展を第一としました。もう一方で、現在の当社の成長を牽引している光ビジネス、就中CCFL事業が06中計でも中心となる柱事業として、その売上成長と利益創出を目指す事としました。

次に、当社の製造会社としてのレゾンデータル(存立基盤)を再認識し、国際競争力のあるコスト実現の為、新たな組織の下で革新的「ものづくり」を推進する事と決めました。更には昨年ポーラ社買収、PSIの設立等で愈々海外グループ各社とのコラボレーションによるグループ総合力の発揮が不可欠となっており、グローバルマネジメントの一層の強化を行う事としました。

最後にこの4月1日に社長交代を行い、期初から06中計に邁進する体制としましたが、ここでのキーワードは「デジタル市場に対応するスピード」であります。21世紀のスピードで行動する為には、従来の慣習を打破し、迅速な意思決定と良好なコミュニケーションの確保が重要であり、これを含めて五つの基本方針としました。

## 2. 基本方針

### (1) コアビジネス拡大に向けた攻めの事業展開

- ① 製品別事業組織の導入により、責任と権限を明確にし、売上・利益管理を徹底する。
- ② マーケティング機能の拡充により、カスタム受注偏重の受身体質から脱却し、攻めの製品戦略を展開する。
- ③ 国内外のFAE（フィールドアプリケーションエンジニア）の拡充と連携により、積極的に新規市場・顧客を開拓し、タイムリーな製品化を促進する。
- ④ サブミクロンプロセス技術の活用により、次世代半導体デバイスを早期に開発・製品化し、ソリューション提供能力を増強する。

### (2) 光ビジネスのさらなる拡大

- ① サンケンオプトプロダクツの早期の生産寄与をすすめ、CCFL事業の売上、利益の拡大を図り、投資回収の早期実現をめざす。
- ② CCFLの生産体制において全体最適を実現し、効率的な生産を進めコスト競争力を高める。
- ③ 他社の追随を許さない差別性の高いCCFL製品開発を推進すると共に、新製品のタイムリーな市場投入により大型液晶TVでのトップシェアを維持する。
- ④ コアデバイスとしてのシリコンブルーの早期商品化を図り、LED事業拡大をすすめる。

### (3) 革新的「ものづくり」の推進

- ① 革新的「ものづくり」への取り組みを強化し、国際競争力のあるコストを実現する。
- ② 製造設備の内製化促進により生産技術のブラックボックス化をすすめ、投資抑制を図る。
- ③ 「品質が私たちの生命線」と強く認識し、たゆまぬ改革を実行することにより、品質で認められる企業となる。
- ④ 企画・設計段階からの開発購買により最適なコストとタイミングで資材調達を実現する。
- ⑤ 生産改革と最適生産システムを両輪に、購買・生産・販売の各部門が一体となり一層の在庫削減を達成する。

#### (4) グローバルマネジメント強化によるグループ総合力の発揮

- ① 先端ウエーハ拠点としての PSI 早期立ち上げと、車載品の認定工場の早期実現。
- ② 本社・AMI・PSI との最適コラボレーション化とソウル・上海・台湾・SPS の FAE 技術センターの連携強化により、グループ各社の全体最適を目指した相互補完関係を構築する
- ③ 海外事業戦略部門を新たに組織し、営業・技術・生産を含めた管理の一元化により、グループの効率的マネジメントを強化する。
- ④ 海外を含めたグループ間の人材交流と活用を積極的に推進し、グローバルビジネスに精通した人材集団を形成する
- ⑤ グローバルなリスク管理体制と内部統制の仕組みを確立し、CSR 重視のグループ経営を実践することで、企業価値の向上を目指す。

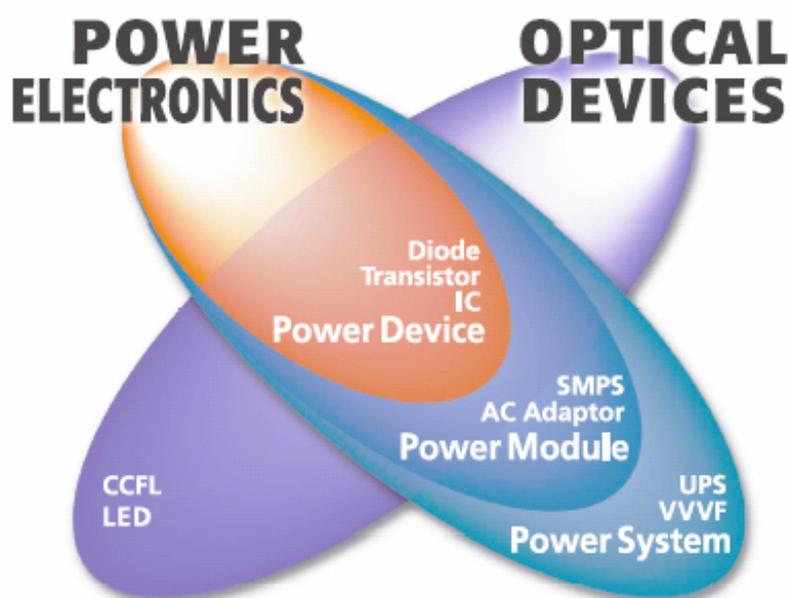
#### (5) デジタル市場に対応するスピード体質への変革

- ① 変化の激しいデジタル市場に対応すべく意識改革に努め 21 世紀のスピードで行動する。
- ② 従来 of 慣習を打破し、社内諸制度の見直しを進めることにより迅速な意思決定が可能となる仕組みを構築する。
- ③ コンカレントエンジニアリングを実現し、開発からものづくりまで短期間で成果をかたちにする。

以 上

# The Powerful Leader in P&O

つねに挑戦、さらに強く



## 【基本方針】

1. コアビジネス拡大に向けた攻めの事業展開
2. 光ビジネスのさらなる拡大
3. 革新的「ものづくり」の推進
4. グローバルマネジメント強化によるグループ総合力の発揮
5. デジタル市場に対応するスピード体質への変革

サンケン電気株式会社  
サンケングループ